

<週報No. 2,910> 3,021 回例会

2020年1月24日(金)

■会長／玉本 広人 ■幹事／山田 文雄

◆司会＝八幡一成SAA

◆ゲストビジター＝金子諏訪市市長

◆出席報告

本日	72.92%	13名欠席
前回訂正	91.49%	5名欠席

◆ラッキーナンバー＝No.34 川村総一郎君

◆ニコニコボックス＝●金子市長様＝本日は宜しくお
 願い致します。●伊藤武利君＝金子市長、本日は卓話
 楽しみです。●伊藤武利君＝今週日赤さんと人間ドッ
 クおかげさまで無罪放免となりました。●北川和彦君
 ＝久しぶりの例会です。長期欠席申し訳ありません。
 金子市長さん、本日よりしくお願いします。●玉本広
 人君、山田文雄君＝金子市長ようこそお出で頂きまし
 た。歓迎申し上げます。本日はよろしくお願いま
 す。●八幡一成君・折井俊美君＝金子市長ようこそ。
 卓話宜しくお願いします。●岩波寿亮君＝金子市長、
 今日はよろしくお願います。●山本實君・飯田兼光
 君＝金子ゆかり市長、今年もよろしくお願います。
 ●石田孝一君＝金子市長様、ようこそいらっしやいま
 した。●川村総一郎君＝ラッキーNoにあたって。

◆会長告知・玉本広人会長＝皆さん、こんにちは。

初めに悲しいお知らせです。加藤会員のご長男がお亡
 くなりになりました。まだ若く、消防などでも活躍し、
 うちの長男もお世話になっていたそうで大変残念です。
 ご冥福をお祈りいたします。

さて前回は、十二支の動物は干支本来の字とは関係
 なく、干支の普及とともに、その字の意味をイメージでき
 る動物を当て、「子」には身近に生命力あふれ発展性を感じ
 る存在として鼠をあてはめたとの話をしました。
 次の十二支である「丑」は、又と丨とが合わさった字で
 母のお腹の中にいた嬰兒が生まれて右の手を伸ばした
 象形文字です。今までおなかの中で曲げて丸まっていた
 ものを伸ばすということから、「始める」「掴む」とい
 う意味を持っています。また糸偏に丑で「紐」という字
 になり「結ぶ」という意味も持ちます。「やしなう」の意

もあり「子」に生まれてきた細胞が組み合わさっている
 いろいろの器官ができてゆくのですが、その組み合わせると
 いうことで、古代の人たちの目に留まったのが動物の牛
 です。牛に車をつけたり、鋤を結びつけたりして耕作を
 する。そこで「丑」に動物の牛を当てました。

「寅」は人が手を合わせて確約する象形で、「進む」とい
 う意味と、「敬しむ」(つつしむ)「助ける」という意味が
 あります。同じに寅で、同寅(どういん)という言葉が
 あります。同僚と同じ意味です。同僚は互いに寅しみ亮
 けあうべきものであり、助け合っているいろいろの妨害・公
 害などを排除してゆくことを寅清えんせいといひます。そうし
 て初めて人間は進歩することができる。寅に寅で「演」。
 演説、演技などの演は進展を意味します。しかし物事は
 進んできているときに失敗するものであり、その失敗とい
 う恐るべきものを古代農耕民族は虎で表現したので
 す。十二支の最後は「亥」ですが、木へんに亥で核兵
 器などの「核」となります。古代人はもうすでに核の持
 つ潜在エネルギーの恐るべき力を知っていたのではない
 か思われます。そこで突如として何事も ない山野か
 ら飛び出してくる猪をこれに当てたわけです。

ゆかり市長は確か戌年だったと思います。

戌は十二支の十一番に当たり、繁茂の茂と同字意味です。
 繁茂成熟した樹々は日当たりも悪く風通しもよくない
 ので、不要な枝葉を切り払う必要があります。こうする
 ことによって、根の疲れが癒され根固めをすることがで
 き、翌年の一段の生長が期待されます。不要な枝葉を払
 うといっても、来年の生長に必要な枝葉は残しておかね
 ばなりません。不要な枝葉を払ってさっぱりした樹の姿
 は美しく、「戌」は美しいという意味にも用いられるそう
 です。ぜひ諏訪市も余計な枝葉は払って、次代の生長を
 期待できる美しい姿にゆかり市長の手で大鉈をふるっ
 ていただきたいと思ひます。

市長には、のちほど年頭にあたってのお話をいただき
 ます。よろしくお願ひいたします

◆幹事報告・山田文雄幹事＝みなさん、こんにちは。今
 日の例会は金子市長にお出で頂きました。就任後の5回
 目になります。後程、年頭所感としてお話を伺ひしま
 す。宜しくお願ひ致します。今日は特段、幹事報告はござ
 いませぬ。次回1月31日の例会は職業奉仕委員会担当
 で、会場はタケヤ味噌さんの味噌会館3階螺旋階段の上
 と聞いております。藤森郁夫さんに聞きましたら螺旋階
 段の上の部屋は2階に並んだ従業員に螺旋階段の上か

ら訓示するために作ったという話を聞きました。お間違えの無いようにお願いします。

◆クラブフォーラム：年頭所感・金子ゆかり諏訪市長

＝皆さん、こんにちは。新年ということであけましておめでとうございます。伝統ある諏訪 RC に新春卓話としてお招き頂きましたのが5回目となります。昨年春の統一地方選ではここにいらっしゃるすべての方々に温かいご支援を頂き2期目の市長職を就任させて頂くことになりました。その節には大変お世話になり有難うございました。諏訪 RC の面々は私にとってお父さんというか先生というか普段お世話になっている方々ばかりなので大変緊張して参りました。不覚にもオレンジを普段通りにがぶっといけば良かったのですが、上品に食べようと思ったら気管支の方に行ってしまう失礼を致しました。令和の時代が明けて初めてのお正月を迎えています。新しい御世が平和で安全な日々であって欲しいと願っているところです。お正月の初日の出も素晴らしく神々しく温かい日和が続いているのですが雪がなくて有難く思う一方で、今日もこんなに暖かいお日和です。コートも無く手袋も無く、お正月の大寒の時期にこの温かさが少し心配になっています。



昨年8月15日の花火は台風10号が接近しておりまして、西の方から順次花火大会が各地で中止・中止というニュースが入って来る中でした。新作花火の時には台風15号、これは一日ずれていればどうなっていたか分かりませんが千葉県では大変な被害が発生しております。そして10月12日の台風19号では長野県では翌日に千曲川が下流で大氾濫を起こすといったそうした被害になりました。諏訪市におきましても上川が後75cmで越水するという状況の中で気象庁から発表されました過去初めて特別豪雨警報、そして私は勧告ではなく避難指示を出させて頂いたのですが、そういうことを考えますと地球温暖化、御神渡りのこともありま

すが本当にこれから十分な心構えと準備、備えを構えておかなければいけない時代になったと改めて思っているところです。新春の温かな有難い穏やかな一方で心構えをしっかりとしなさいというメッセージの新春所感です。

本日は市政の報告をするのが良いかと思って昨今の状況を申し上げますと、一期目初めて当選させて戴いた時の公約で、一番大きな事業が駅前東口の新しい街を作るという件に関し、4年間で出来るとは思っていなかったのですが多くの皆さんの協力、そしてご指導賜ることが出来まして4年目の5月18日アーク諏訪というビルの3階を市で買わせて頂き、公共スペースのすわっチャオがオープンしております。大体18億円掛かっております。諏訪市の厳しい財政状況の中ですので、単独でこれだけ出せることはありません。そういう理由で今年度の予算は大きな規模となっています。地方創生ということでもまち・ひと・しごと総合戦略の中に位置づけることで、内閣府からご支援・交付をいただいたりしています。中心市街地の在り方検討会に有識者の皆さんに集まっていただき、都合10回開催し、その中でコンパクトシティ化に向けた街の有り様のお話しをし、アイデア等々を戴きました。コンパクトシティを創るための立地適正化計画を同時にスタートさせました。街の中心にあるもの色んなものを位置づけており、すわっチャオも含んでおりましたので、国交省からも大きな支援を戴きました。色々な工夫を重ねましてオープンしましたすわっチャオはこの3月末までに10万人の人に来ていただくのが目標だったのですが、9月25日に10万人に達し、2月の中旬までに20万人の目標達成という数字が見えて来ています。様子見の方もいらっしゃるのですが、この初年度の数字に甘んじることなく施設をより多くの皆さんに使って頂く努力を継続している最中です。先日はビリギャルと呼ばれた小林さやかさんにご講演いただき、この日曜日には元巨人軍監督の高橋由伸さんが講演をしに来てくれます。イベントを入れたり、高校生の皆さんに沢山使っていただいたり、益々の利用を促す努力をしてまいりたいと思います。

駅舎のことも話題にさせていただきます。上り列車で西口から出ようとすると、駅の中を高架橋を渡って東口を出て、一旦外の連絡通路を通過して西口に出るというスタイルです。西口は歩いて500mで温泉街・湖畔

公園・美術館などホテル旅館街といった観光地になるわけです。連続立体交差事業が笠原市長さん時代から立ち上がっておりましたが、鉄道案件は実現しておりません。複線化の話は随分前にありました。色んな諸事情の中で、今までの経過があるわけですが、現在も何とか利便性の高い駅舎が早く実現出来ないかということで様々皆さんにご意見を頂いているところです。昨年の11月には国交省の関東地方整備局建政部のセッションが主催する研究会でしっかりプレゼンしなさいと五つの市の市長が呼ばれて、国交省本省の由木審議官や関東地方整備局長さんなど錚々たるメンバーが居て下さって、その中で諏訪市の街作り・中心市街地の再生整備計画において、課題はこんなことがございまして、市単独ではクリア出来ない非常に難しい案件ですがお知恵を頂ければ有難いという話をして参りました。懇親会の席で担当課長さんが何人か来られて、非常に優しくお声掛けして頂き、今も一緒に研究をいただいている状況です。駅舎につきましてはJRさんとも情報交換を重ねているところです。周辺には色んな関係者・ステークホルダーさんがいらっしゃいますので、今は何とも申し上げづらい所ですが研究は進めています。西口を出て諏訪湖に向かう柳並線は諏訪湖ホテルさんが改築ということになり、この機会に土地をお譲り戴くことが出来ましてこの秋に契約が済んでいます。市が土地を購入致しまして、20メートル幅の道路が若干揺れますが湖周線に直結致します。駅西口から諏訪湖を見渡せるという景観が実現してまいります。そして湖周に出ますと、ランニングロードの外側にサイクリングロードの設置に取り掛かっております。今年はヨットハーバーから下諏訪境までが諏訪市の管轄ですが、詳細設計は今年度予算でほぼ完了ですので、来年度からは工事に着工してまいります。4~5年掛かるのですが、下諏訪町さん・岡谷市さん、そして長野県が役割分担で進めていまして、その頃には湖周16キロの自転車道が完成致します。ガラスの里の直ぐ上のSA、そこは恋人たちの聖地とって諏訪湖を見下ろす風光明媚な、SAとしては数少ない観光地であります。そこから諏訪湖に降りようと思うと岡谷IC経由、または諏訪IC経由で相当の距離を走らないと降りて来られないわけですが、県議会議員時代に県も一緒にやって欲しいということで知事をお願いしたのがリニア関連の事業です。高速道路の沿線に甲府の駅も座

光寺の飯田の駅もリニアの駅は出来ますのでアクセスとして高速道路も非常に重要です。利便を上げるため、上下線ともフル規格のスマートICが出来ます。昨年9月22日に国交省から申請していた申請が受理されて連結許可が出ました。これで事業着手です。地元の皆様と用地のこと等々、話し合いを重ねているところで、自転車道が完成すると同時期に開通するというところで進めています。

街を21世紀に相応しいリフォームを掛けています。超高齢少子化社会の中で、余りにも一極集中した東京から、地方の力をもう一回復活させようという国も一緒になって取り組んでいる事業の中で、より魅力がある皆を選んで貰える地方を作らなければいけないという想いの中で取り組んでいます。おかげ様で駅前開発さんが建築しましたマンションが完成致しまして、2月から入居が始まると伺っております。植栽の工事に入りましたら、駅前が非常に垢抜けた感じが致しました。是非、通りかかってみて戴きたいと思います。3LDK・4LDKでワンルームは一切ありませんので、家族の皆さんに住んで頂きたい、ここで子育てする方に住んで頂きたい、リゾートマンションとして夏だけしか来ない方ではなく、居住して貰う方用に設計を戴きまして、今残りが4戸でほぼ売れている状況で、街を歩く人が増えて来ることも大いに期待出来ます。

社会基盤整備についてはそのように進んでいるわけですが、超少子高齢化対応施策はそればかりではありません。一昨日の長野日報さんの一面に出して頂きましたが、諏訪市は子供の数がどんどん減ります。これは諏訪市のみならず日本全国どこでも同じ傾向ですが、20世紀の時代、子供たちがどんどん増えていた時代に作った学校のレイアウトの中で、子供たちが減少していくことは、一校当たりの学校の生徒数がどんどん減っているということです。学校の中で育つ環境として一学年一クラスの学校が町なかに存在していません。しかもその一クラスは学年に依っては一桁という実態が実は諏訪市の中にある。高島小学校も今、二クラスです。学年に寄っては一クラスに成りかかっています。そうした所から着手しなければいけませんねということで、一期目に就任した時に、学校の綱要がこのままで良いとは思っていませんでした。高島小学校と城北小学校を合体すればその仕事は終わりだという発想には違和感を感じていました。吸収合併されるん

じゃないかと思う学校 PTA の皆さん、卒業生の皆さんが非常に悲しい思いになります。切ない思いからつい反対になってしまいます。あそこの学校の減り方が急激なことはありますが、諏訪市全体が同じ課題を共有しなければいけないと思ひまして、教育長と相談しました。全市小学校 7 校と中学校 4 校、全 11 校総ての学校を対象にして 3 つの小中一貫校に再編しませんかという話をさせて戴きました。やってみなければ分かりませんがこれも一案として関係の皆さんにお諮りして、教育委員会が意見をまとめて、何度か会議を重ねた結果、ゆめスクールプランが出来上がりまして 3 つの小中一貫校を造るために、現在順次ステップアップしています。令和 3 年 4 月 1 日から名前はまだ決まっていますが、高島・城北・上中の新しい小中一貫校が開校致します。この間の記事は城南小学校の通学区の一部を加えるということが専門委員会です承されました。2 月の教育委員会の定例会議で承認されましたら規則改正となり進んでまいります。同時並行でその他のエリアについても順次 7 つの部会の中で検討をさせて戴いております。準備が整った所から、小中一貫校という教育現場に変わっていきます。それに関連しまして保育所についても諏訪市内に 13 校の公立保育所、私立が 3 校、幼稚園が 1 校あります。10 月 1 日の消費税値上げと共に保育・幼児教育の無償化がスタートしております。子育てに後押しをして、子育てし易い街を創っていく、これは全国一斉同じですが、保育所においても様々な課題があります。老朽化した園舎を使って頑張っってやって下さっている所もありますし、新しく出来た所もあります。保育所の運営委員会や関係の皆様との会議にお諮りをして 2 年程検討した中で、「笑顔ひろがる・ゆめ保育所プラン」をまとめて戴きました。公立の保育園がとて多いのですが、大変人気の民営の保育園もあります。いつも定員を若干オーバーしないとイケないほどの人気の所がありまして、そのような中でどの様なレイアウトにするのかどんな力を入れていくのかを含めて、保育所についても検討していきます。もう一つは県立高校が殆どですが、高校の改革もスタートしています。長野県の高校改革は第二次まで完了しました。第三次の高校改革に着手するところで、旧通学区のエリア内で市長就任前になりますが、高校も数年後には 4 クラス分の生徒が減ります。一学年 4 つクラスが無いということは一つ学校がない

というイメージで、更に減っていくという段取りの中で、一クラスずつの高校という環境がこれから世界に羽ばたいていく、色んな人間関係や社会を広げていく高校生にとって本当に良いのかということもありまして、それに取り組みなければならぬと思ひます。5～6 年前に具体名を言うと普通高校を纏めなくてはイケないという中で、岡谷の二つの普通高校を一緒にすれば良いでないかという話が一時盛り上がっていましたが、その名前を挙げられた高校の関係者はご心痛と心苦しい思いをされたわけです。諏訪市の小中一貫校のことも、色んな経過を学習する中で、小手先の話ではなく、これだけ第 4 次産業革命であり 5G とか 6G とか、ボーダーレスであったり、技術開発の進んでいる世の中を、これから生きていく高校生達にとって本当に身につけてもらわなければイケない教育は何なのかをキチンと語った中で、どうした教育現場が相応しいのかの積み上げで、最終的にこういう高校レイアウトになりますという方が皆に分かり易いし、いざこざを生まないと思っています。県教育委員会も本当は県立高校ですから県がもう少しガッツリ入ってされるのか思ったら、そういった経過は他の地域でも沢山あったようで、先ず地域の皆さんの高校に対する期待とか必要性とか希望とかをまとめて欲しいということで、地域協議会を立ち上げることになりました。皆尻込みをしながら、誰が主体でやるんだといっていました。白羽の矢が立ったのか、諏訪市の教育長をはじめ教育委員会のスタッフはそうした改革にも取り組んでいる、腹をくくってやってくれている証なのか、諏訪市教育委員会が事務局を務めてくれることになりました。不肖私が会長職を受けて過去 2 回話し合いをしています。今後、回を重ねてこの地域の高校生の教育に対する意見を取りまとめ、県教委に伝えていきたいと思っています。

ここにご参集の方々は私の先生格の皆さんで、時代の変革の速さを身をもって感じておられると思ひます。企業の皆さんの中には人手不足とか後継者不足、これは人口が減っていく、高齢化していくという中で当然のことながら出てくる課題であります。今は外国人材の登用ですとか色々工夫をしながら難局を乗り越えて行こうとしています。そして生きている我々はいかに健康で長生きをするか、そして元気でいられる間は、いかに地域・社会に関わられる分野で頑張れる

かといったことが目標になっているわけです。もう一つはコンピュータに出来ることはコンピュータにやってもらって、人でなければ出来ないことに人の力を生かしていくという転換に面している最中であります。諏訪市役所におきましても、ご多分に漏れずです。先程、ここはぬのはんさんでございますので、会長から訃報の報告がありました。加藤さんのご息様は諏訪市役所の職員でありまして若干33歳、昨日お別れの挨拶に行きまして参りましたが、若い方が先に逝ってしまい、とても悲しい思いをしております。先月も当時51歳のスタッフ職員が病からお亡くなりになってしまいました。切ない思いをしながら心からご冥福をお祈りしつつ、ぬのはんさんでしたので一言付け加えさせて頂きました。それに加えまして、私たち生きているものが皆さんの思いも含めながら役所を支えていかななくてはならないと部長会議でも黙祷を捧げた後、皆でカバーして頑張ろうと言いつつも体には気を付けて下さいということでやっております。

人という人材は本当に貴重ですから、コンピュータ等で技術的にカバー出来る仕事は積極的に取り込もうということで、昨年から私のマニフェストの一番の大項目にも掲げましたスマート自治体を目指して、部長には何度か東京に研修に行きまして貰っています。その中の一つがマニフェスト研究所ですが、私の大学院時代の恩師の北川正恭さんが立ち上げた早稲田大学の機関で、今は顧問でいらっっしゃいます。刺激を受けて、今諏訪市役所では諏訪市役所スマート化プロジェクトが立ち上がっております。何が始まっているかというと、マイナンバーカードの登録手続きは必要ですが、全国のコンビニでどちらに転勤されても戸籍証明・所得証明・印鑑証明などが200円で取れます。市役所だと300円掛かります。恩恵を受け易いように諏訪市は100円安くしております。今度の4月1日からはスマートフォンでQRコードから支払って頂くと住民税・固定資産税・軽自動車税・国保・水道料がスマホ決済で可能になります。取り組みを進めている中で、議事録作成、今はICレコーダーから職員が文字起こしして確認を取って、皆さんにアップするという手続きをやっていますが、今や時代は自動翻訳・自動文字起こしが出来てきます。色々な機種が出ているようですが、それをやろうと昨日の公式記者会見の時に胸にマイクを着けて、レコーダーを置いて、そのデータをコンピュー

タで処理してどれだけ正確性があるが何種類かで実験を始めているところです。コンピュータの分野には特に不得手な人間であります。世の中がこういった時代になってまいりましたから、そのメリットをしっかりと受け取って、介護・福祉では、介護はロボットで出来る場所は委託するのですが、人でなければ出来ないところに人を充てていきたいと取り組んでいます。質問のお時間が無くなってしまいました。まだまだ色々取り組んでいることをお話したいのですが、この位で諏訪市役所の取り組みの一環とさせていただきます。今年にはオリンピックイヤーということで4月3日には諏訪湖畔で聖火リレーが行われます。これも今、仕込みをしておりますので、発表までもう少し待っていただきたいのですが、エネルギーをしっかりと取り込んで参りたいと思います。そして激化する気象に対しましては地球環境を考える優しい取り組みの一貫としてゴミの有料化をさせてもらう予定です。色んなパワーを受け取ってこの地域がより住みよい、そして来て下さった方たち、住んでいる方たちにも「良かったね」と言われるような街に出来るよう一生懸命取り組んでまいりたいと思いますので、諏訪RCの諸先輩の皆様方には引き続き、ご指導ご鞭撻ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご清聴有難うございました。本年も宜しくお願い致します。

質問・岩波寿亮会員＝市役所の採用試験を受けた方から相談をされましたので、諏訪市役所の職員採用状況について教えて下さい。

返答・金子市長＝今年には8名を行政職として採用しました。3倍位の方々に応募を頂いております。おかげ様で市役所が採用において定員に達していないという状況には至っておりません。全体を通しますと、長野県内・全国的にニュース等々で聞いておりますと、定員に満たない所も出てきています。諏訪市にとっての一つの課題は障害者雇用が目標値に達しておりません。今年には6人になりまして、目標値に若干近づいたのですがまだ足りません。中途を含めまして障害者雇用につきましては来年も数名採用に募集をかけていきたい状況でございます。お辞めになる方、転職をされる方もいらっっしゃったりします。私たちも同じように人の採用というのは重要な課題と心得て取り組んでまいります。